

第16回境川流域総合治水対策協議会・委員会の結果報告について

平成16年5月13日に開催された、境川流域総合治水対策協議会・委員会(刈谷市始め6市3町及び県)において、以下の項目を協議・確認し、今後とも、積極的に総合治水対策に取り組んでいくことで了解しましたので、お知らせします。

1. 流域対策緊急五ヶ年計画の進捗状況について

平成15年度末までの対策済量は約11.4万 m^3 で、「緊急五ヶ年計画」に対する進捗率は約54%となっている。なお、現在工事中のものも含めると約66%となる。平成16年度以降も着実な推進に努めていくことを確認した。

【背景】

境川流域(流域面積264 km^2)の急激な都市化の進展による治水安全度の低下を克服するため、河川整備の促進とともに、流域開発による洪水流出量の増大を抑制し、流域が従来有していた保水、遊水機能の維持、増大を図ることを目的として、「境川流域整備計画」が、昭和58年に策定され、総合治水対策が推し進められてきた。

この間、流域の都市化率は約54%に達し、計画想定値の50%を上回り、開発に伴う必要対策量約206万 m^3 に対し、平成12年度末で約115万 m^3 (約56%)にとどまっている。

平成12年9月の東海豪雨水害を契機に、水災の防止・軽減を図るため、境川流域の各市町自らが、平成17年度までの5年間で、緊急的に実施する貯留浸透施設等の目標整備量(21万 m^3)を、「流域対策緊急五ヶ年計画」として定めている。(平成13年5月8日策定)

この計画を推進するために、毎年、実施状況について協議会において確認し合うとともに、実施に向けての支援策等を県・市町が連携し協議することとしている。

2. 河川事業の実施状況について

境川・逢妻川のJR橋改築、猿渡川と発杭川において長年の懸案であった大型構造物の改修状況等について説明した。今後とも事業促進を図るため、各市町との連携を強化し取り組むことを確認した。

3. 境川河川整備計画の策定について

愛知県では、東海豪雨という想定を上回る豪雨による浸水経験や、浸水予想図の公表結果(平成14年7月)を踏まえ、流域内河川の今後20年から30年間の具体的な整備内容を示す、「境川河川整備計画」の策定に本年度から本格的に着手する。

「境川河川整備計画」の策定作業に伴い、現行の「境川流域整備計画」を境川流域総合治水対策協議会が主体となり見直し、さらに本年度から協議会の中に分科会を設置し、検討することで合意した。

表 境川・流域対策緊急五ヶ年計画・進捗状況

市町名	緊急五ヶ年計画 対策量(当初) (A) (m3)	平成15年度末まで(実施)			平成16年度(計画)			
		箇所	対策量	進捗率	箇所	対策量	総対策量	進捗率
		(B) (件)	(C) (m3)	(D)=(C)/(A) (%)	(H) (件)	(I) (m3)	(J)=(C)+(I) (m3)	(K)=(J)/(A) (%)
刈谷市	22,430	4	17,696	79%	1	1,400	19,096	85%
		4	17,696	79%	1	1,400	19,096	85%
豊田市	55,648	4	35,600	64%	1	1,400	37,000	66%
		8	54,700	98%	1	1,600	56,300	101%
安城市	0	0	0	-	0	0	0	-
		0	0	-	0	0	0	-
大府市	37,087	4	14,526	39%	0	0	14,526	39%
		4	14,526	39%	0	0	14,526	39%
知立市	24,540	1	3,228	13%	1	4,638	7,866	32%
		2	7,866	32%	3	16,674	24,540	100%
豊明市	3,400	2	2,700	79%	1	11,000	13,700	403%
		2	2,700	79%	1	11,000	13,700	403%
東郷町	0	0	0	-	0	0	0	-
		0	0	-	0	0	0	-
東浦町	26,611	0	0	0%	0	0	0	0%
		0	0	0%	1	17,000	17,000	64%
三好町	39,976	8	40,522	101%	0	0	40,522	101%
		9	40,868	102%	0	0	40,868	102%
合計	209,692	23	114,272	54%	4	18,438	132,710	63%
		29	138,356	66%	7	47,674	186,030	89%

注) 上段:事業完了ベース、下段:事業着手ベース